行　方　市

大規模盛土造成地マップ

このマップは、大規模盛土造成地が身近に存在するかどうか知っていただく目的で作成したものです。
市内に分布する大規模盛土造成地の位置と種類を示すもので、盛土の危険度を示すものではありません。

行方市では、谷間や斜面に大規模な盛土を行い造成された宅地の分布状況を把握するため、平成 27 年度に調査を実施し、大規模盛土造成地マップを作成しました。

●安心・安全なまちづくりを目指して

平成 7 年の阪神・淡路大震災、平成 16 年の新潟県中越地震、平成 23 年の東日本大震災などでは、大規模に谷を埋められた造成宅地で多くの住宅や周辺の公共施設に甚大な被害が発生しました。

国ではこのような宅地地盤災害を未然に防止または軽減し、宅地の安全性を確保する目的とした宅地造成等規制法を平成18 年に改正、併せて地方公共団体が実施する大規模盛土造成地の変動予測調査や宅地所有者が国や地方公共団体の補助を受けて滑動崩落防止事業を実施できる「宅地耐震化推進事業」を創設しました。

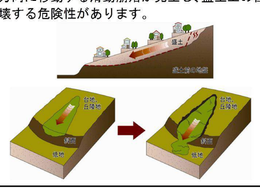
盛土造成地の変動に伴う被害（写真：長岡市）
わが家の宅地安全マニュアル（国土交通省）より

●大規模盛土造成地で考えられる危険

大規模盛土造成地では、地震の揺れによって盛土が移動し、宅地が変動することがあります。

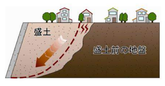
谷埋め型盛土の危険性

谷を埋めて宅地用の平坦面を確保した谷埋め型の大規模盛土造成地では、地震時に宅地造成前の谷底付近が滑り面となり、盛土の全体、または一部が斜面下部方向に移動する滑動崩落が発生し、盛土上の住宅を破壊する危険性があります。



腹付け型盛土の危険性

傾斜地盤上などにおいて、高い盛土を行った腹付け型の大規模盛土造成地では、地震時に盛土の全体、または一部が斜面下部方向に移動する滑動崩落が発生し、盛土上の住宅を破壊する危険性があります。



●行方市の取り組み

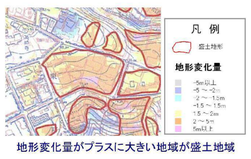
平成23年3月に発生した東日本大震災は、東日本の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。わが国は、世界でも有数の地震大国であり、今後も繰り返し地震が発生すると考えられています。

行方市が位置する茨城県南部地域では、茨城県沖で発生する地震や県南部の地下で発生する地震などの大地震の発生が懸念され、大地震による造成宅地の滑動崩落は、多くの宅地災害をもたらすと考えられています。

市では、地震による大規模な盛土造成地の滑動崩落による被害軽減を図り、造成宅地の耐震化を推進するため市内の大規模盛土造成地の位置、規模及び種類を調査しました。

【調査の方法】

1．過去の地形図や航空写真を調べて、大規模な盛土造成された宅地が分布しそうな地域を抽出します。
2．抽出した地域について、過去に撮影された航空写真をもとに地形図を作成します。
3．過去と現在の地形図を比較して、標高が高くなった地域を大規模盛土造成地として抽出します。



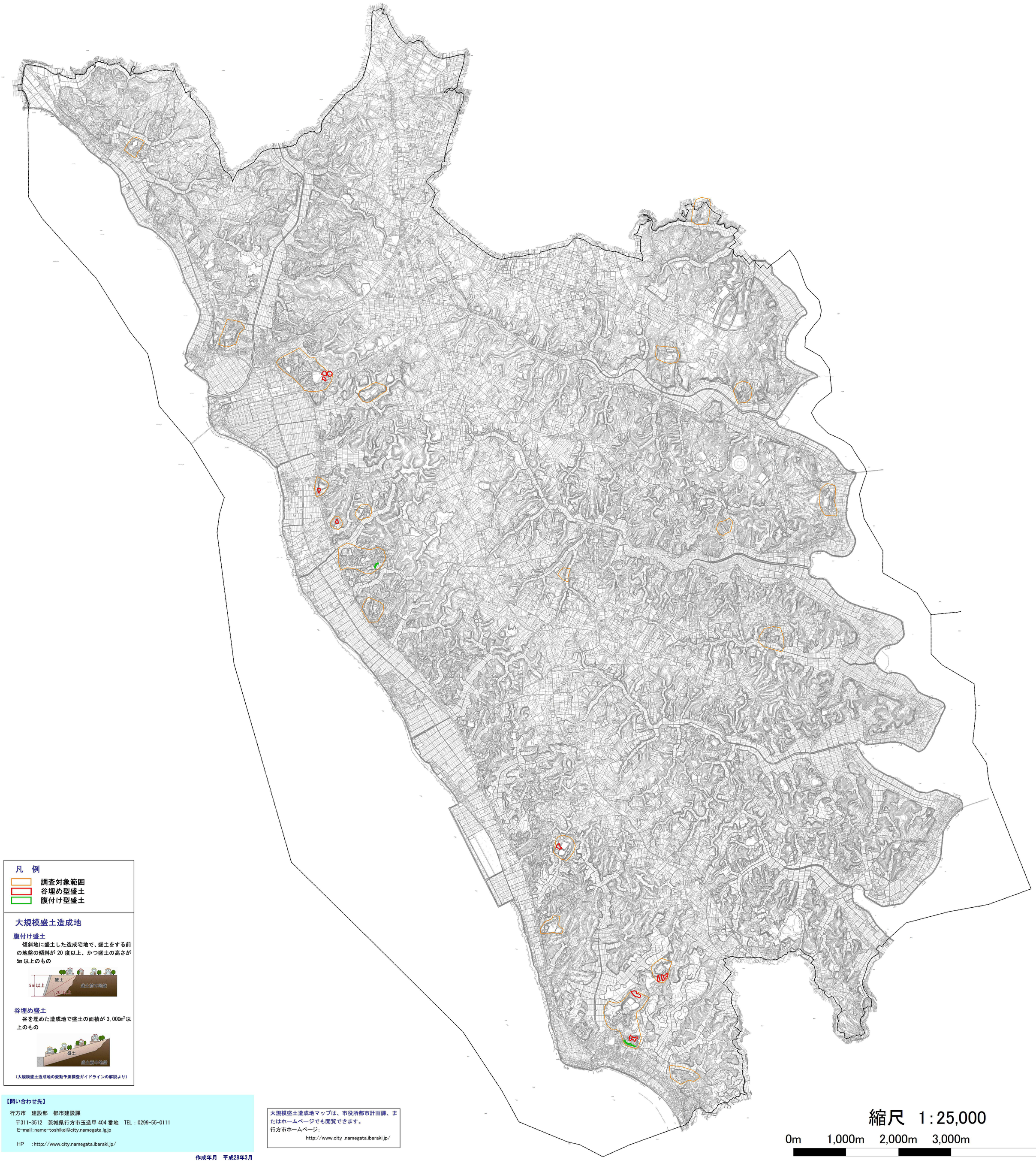
地形変化量がプラスに大きい地域が盛土地域

ここでは、大規模な盛土造成をした宅地（大規模盛土造成地）を抽出したもので、宅地の危険性についての評価は行っていません。

●宅地の耐震化に関する情報について

宅地災害は、大切なわが家だけでなく、命に関わることもあります。宅地の耐震化や宅地災害に関する情報は、以下のホームページなどからも見ることができます。

【宅地の耐震化に関するホームページ】
■国土交通省　宅地防災トップ
http://www.mlit.go.jp/crd/web/index.html
■国土交通省　宅地防災　パンフレット等
http://www.mlit.go.jp/crd/pamphlet.html



凡　例

- 調査対象範囲
- 谷埋め型盛土
- 腹付け型盛土

大規模盛土造成地

腹付け盛土

傾斜地に盛土した造成宅地で、盛土をする前の地盤の傾斜が 20 度以上、かつ盛土の高さが 5m 以上のもの

谷埋め盛土

谷を埋めた造成地で盛土の面積が 3,000㎡以上のもの

（大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説より）

縮尺　1：25,000

0m　1,000m　2,000m　3,000m　5,000m

【問い合わせ先】
行方市　建設部　都市建設課
〒311-3512　茨城県行方市玉造甲 404 番地　TEL：0299-55-0111
E-mail：name-toshikei@city.namegata.lg.jp
HP　：http://www.city.namegata.ibaraki.jp/

大規模盛土造成地マップは、市役所都市計画課、またはホームページでも閲覧できます。
行方市ホームページ：
http://www.city .namegata.ibaraki.jp/

作成年月　平成28年3月